



ごあいさつ



2022年1月

取締役頭取

海治勝彦

皆さまには平素より私ども高知銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

このたび、2021年度中間期のディスクロージャー誌「高知銀行の現況」を作成し、当行のホームページ (<https://www.kochi-bank.co.jp/>) に掲載いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえご理解をいただければ幸いに存じます。

地域金融機関を取り巻く環境は、少子高齢化の進展やコロナ禍による経済活動への影響等もあって、依然厳しい状況にあります。当行は、地域金融機関としての金融仲介機能を最大限に発揮していくとともに、ライフスタイルの変化や、デジタル技術の進歩に伴うお客さまニーズの多様化や高度化に対する的確にお応えしていく必要があると認識しております。

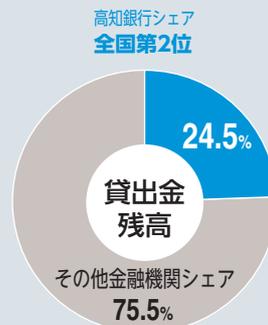
こうした認識のもと、本年4月から向こう3年間を計画期間とした中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」をスタートさせました。デジタル技術等を活用した抜本的な業務効率化と、グループ全体の連携強化で組織をさらに進化させ、「地域の皆さまを起点とした協働」をより一層深化させてまいります。

さらに、SDGsの達成に向けた様々な活動を通じて共通価値を育み、地域の持続可能性を高めていくとともに、より付加価値の高いサービスや課題解決に向けた最適なソリューションの提供を通じて、地域社会や地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地元における「預貯金・貸出金」シェア (2021年3月末)

「第二地方銀行の地元でのシェア」におきまして、高知銀行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。



- 高知県内の計数を対象としています。
その他金融機関には、「大手銀行など、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、ゆうちょ銀行」を含みます。
- 月刊金融ジャーナル増刊号金融マップ2022年版調べ